

会長挨拶

第4代同窓会会長
元勝田高等学校 P T A会長
黒澤 敦（5期）



第2回勝田高校同窓会総会に際して

本年も、このように多くの同窓生の皆様にご参加をいただき、2回目となります勝田高校同窓会総会が開催できることを、心より嬉しく思います。

昨年より同窓会会長を務めさせて頂いております5期生の黒澤と申します。

さる3月1日には第39回となる卒業式が母校にて行われ勝田高校の卒業生であると言う新たな私たちの仲間がそれぞれの進路へと踏み出しました。

約10,000名となる勝田高校の同窓生ですが、地域社会におきまして色々な場で活躍されております。現在の勝田高校には 8人のOBが先生として母校の生徒を指導されています。

また地元のひたちなか市役所には80名の歴代の卒業生が勤務されており、市議会にも二人の卒業生が議員として活躍しております。

さらに、民間企業においても多くの卒業生がお互いに連絡を取り合いながら、ネットワークを広げています。

この、勝田高校の卒業生であると言うひとつの共通項をもとに、互の親睦を深め発展させることが同窓会の大きな役割の一つではないかと考えております。

本日の総会には、地元茨城県のみならず周辺都県から多くの卒業生や恩師の先生方にご参加いただきました。

また、今総会の開催にあたりまして、勝田高校の先生方はもちろんのこと、同窓会を盛り上げようと年齢に関係なく熱い心を持った卒業生が集まり、話し合い、時には意見をぶつけ合いながら準備を進めてまいりました。

彼らの熱意と行動力と先輩を先輩とも思わない図々しさが無かつたら、このような盛大な総会は開催できなかつたかもしれません。心から感謝いたします。

同窓会会長とは、決してこの会のリーダーなどではありません。

私自身も、同窓会の親睦のため、母校の発展のため、そして何よりも今勝田高校で学ぶ生徒たちのために尽力してまいりますので、今後の同窓会活動に関しましても皆様のご理解とご協力を、よろしくお願ひいたします。



第1回フォトコン作品 泉俊希くん

学校長挨拶

茨城県立勝田高等学校
校長 平野 厚



茨城県立勝田高等学校同窓会の第2回総会が盛大に開催されますことに、心よりお慶びを申し上げます。また、平素より本校の教育活動に、多大の御支援と御協力をいたしておりますことに、深く感謝申し上げます。

本校の現状ですが、生徒たちは全体としては、落ち着いた学校生活を送っています。意欲的に学習に取り組み、部活動にも熱心に励んでいます。本校では現在、「元気にあいさつをする」「時間を守る」「身だしなみを整える」の三点を行動目標として、重点的に指導しています。生徒たちは指導の趣旨をよく理解して、これらをよく実行しています。今後もこれらは引き続き指導してまいります。

本校は、ひたちなか市内の各中学校や地域の方々から、ある一定の評価をいただいていると思います。ただ、今後改善すべき課題が全くないわけではありません。問題点を全員で共有し、課題の解決に向けて全職員で取り組む所存です。同窓会の皆様の変わらぬ御支援と御理解をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

学校内幹事挨拶

勝田高等学校職員
益富 晃一（2期）



茨城県立勝田高等学校同窓会総会開催おめでとうございます。
また、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力いただきましてありがとうございます。特に昨年度は、秋の同窓会フォトコンテストにも本校生も参加させていただきありがとうございました。さらに、2月には本校の進路行事であるキャリア教育講演会に5名の同窓生の協力をいただき感謝申し上げます。

同窓会や地域のご支援もあって本校は文武（学習も部活動も）活性化しています。部活動ではオーケストラ部が全国総文祭に参加する他、ラグビー部は県ベスト8（5位）、理科部は関東東北リーグに出場を果たしました。その他の部活動も日々練習に励んでおります。

また、進路実績もこの2年間、国公立大学合格者は30名を超えております。地元茨城大学の他、東北大学、筑波大学、国際教養大学、奈良女子大学、群馬大学、埼玉大学など、全国的に有名な難関大学にも合格しております。

このような活動・実績は、皆様のご支援の賜物と存じておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

役員紹介

会長	黒澤 敦 (5)
副会長	川又 繁 (1)
	益富 晃一 (2) (校内幹事兼務)
	阿久津 隆男 (7)
事務局	大谷 浩一郎 (9)
	佐藤 久彰 (13) (事務局長)
	大畠 雅弘 (13)
	鈴木 道夫 (27)
会計	小池 光浩 (7)
監査	大貫 裕治 (1)
常任幹事	斎藤 文隆 (2)
	額賀 正彦 (2)
	鹿志村 武史 (5)
	中田 由彦 (6)
	佐藤 真人 (7)
	宮田 忠明 (7)
	深川 隆成 (7)
	平野 壱久 (11)
	萩谷 公康 (11)
	大内 浩 (11)
	人見 孝 (13)
	鬼澤 豊孝 (13)
	黒澤 務 (13)
	俵 はるみ (13)
	木村 真理子 (13)
	藤谷 美幸 (13)
	畠山 元気 (22)
	大内 聖仁 (24)
	七部 努 (27)
	坂爪 美恵 (28)
	櫻井 瑞子 (39)
顧問	柳田 尚久 (1) (前会長)
	野木 滋 (2) (前副会長)
	永井 資郎 (1) (初代会長)

副会長挨拶

第9回生 ラグビー部主将 大谷浩一郎

勝高入学時、自分を鍛えようとラグビー部に入部した。



毎日毎日、ボロ雑巾のようになりながら授業そっちのけで練習に明け暮れた。

炎天下、今のように水分補給などはさせてもらえず、ひたすらランパスを繰り返し、真冬は霜が降りたあのぬかるんだ足元で泥にまみれながらスクラムを組んだ。そんな同じ体験をした者たちの絆は強い。

その仲間達と毎年元日に勝校のグランドに集まり初蹴りを行なっている。現役メンバーとOBが試合を行なう創部以来続いている伝統行事だ。

最近は家族連れて参加する仲間も多く、元日の勝高グランドは賑わっている。

是非、お正月には勝高グランドに来てほしい。ラグビー部はもちろん、それ以外の方もきっと懐かしい仲間に会えるから。



懇親会風景（東京有楽町にて）

お知らせ

第2回勝田高等学校同窓会主催 フォトコンテスト開催します！

昨年、新規事業として開催しましたフォトコンテスト。プロの写真家岡崎さん（19回生）による写真講座を用意するなど在校生だけではなく、同窓生を含めて楽しめた企画でした。今回は、コンパクトデジタルカメラ、一眼レフなども含めより高度な技を競って頂けるものと期待です。

同窓生の皆さんには、参加はもちろん昨年同様、ご協賛もよろしくお願ひします(^^ゞ

・協賛1口 5000円

ポスター／ホームページ等で告知致します



夏の全国高校野球茨城予選 母校を応援しませんか！

一昨年より、同窓生による熱い応援が繰り広げられております！在校生の時とは一味違った、なにやらとっても楽しいんです。

そして元気に応援のあとは、元気にビールです！

いい仕事の後はそれはそれは美味です(^^ゞ

メルマガ、FB等で呼びかけますので奮ってのご参加お待ちしております



お知らせ

母校の教壇で、現役生に仕事に関する講演をお願いします

一昨年より、県、あるいは学校の公式事業でもあるキャリア教育講習会に同窓会も深く協力しております。

将来や進路に不安や思い悩む現役高校生に、その道のエキスパートとして、人生観、職業観などを講演して頂いてます。

こういう場に立つことで、改めて自分自身振り返る格好の機会でもあると思います。

学生さんだけではなくご自身を振り返るためにも是非ともご利用してみてはいかがでしょうか。

毎年12月ごろ、公式HP、メールマガジン、FBなどでお声掛けさせて頂きます。



**同窓会では、様々な親睦を深める事業をご用意しております
もちろん新事業も練っておりますよ！
是非、友人知人を誘ってのご参加お待ちしております♪**



2014.08.09 13回生同窓会

2014.08.16 18回生同窓会

第3回金曜会開催

於：クリスタルプラザ

会員寄稿



同窓会に寄せて

第17回生 剣道部主将 藤田尚弓

高校時代はどちらかというと、問題行動の多い生徒だったかもしれません。ごめんなさい。ゆえに、同窓会にも参加しにくかったのですが、先輩方のアップする写真があまりにも楽しそうで。昨年、ドキドキしながら私も初参加いたしました。

同窓生という共通項はすごいですね。知っている人は誰もいなかつたのに、隣の人とスグに話が弾み、楽しい時間を過ごすことができました。感謝です。暖かく、緩く、繋がれるのが同窓生の良さ。まだ遠巻きに見ている人達にも、ぜひ参加してもらえたたらと思います。

*事務局注 藤田さんは作家として、各種講師として官公庁・大企業等での講演多数ある実業家でもあり気鋭のコラムニストでもございます。写真はあくまで彼女一流の洒落であります(^^;)



同窓会に寄せて

第19回生 遠藤ちひろ 東京都多摩市議会議員

オーケストラ部、洗心館（習熟度別授業）、そして麻雀デビュー。本会報に駄文を寄せるに当たり高校三年間を振り返ったとき、最初に浮かんだ単語は遺憾ながらこの3つであります。なかでも英語の成績によって洗心館クラスに入るか、入れないか。これはナイーブな17歳の私にとってはかなりの重大事であり、なんと通学中に英単語帳をめくらせたほどです。いまから20年前、勝田高校2-3年の英語クラスは中間期末の成績によって2クラスに分けられており、英語の授業になるとそれぞれ所属するクラスへ移動する方式でした。上位クラスである洗心館クラスに入れた学期は口には出せない優越感に浸り、逆に通常クラスに組み入れられたときの無念さと屈辱たるや...。

茨城を飛び出して荒海に乗り出すための、繭のような勝田高校。進学や将来への希望と野心が同居する中で、同時にそのプレッシャーや反骨心を育ててくれる学び舎でした。同窓会活動と母校のますますの発展をお祈り申し上げます。

会員寄稿



同窓会に寄せて

第26回生 鈴木道生 ひたちなか市議会議員

第2回総会の開催おめでとうございます。

日韓W杯前年の2001年に私は勝田高校を卒業しました。あれから13年の月日が経ち、今年はブラジルW杯の年となりました。

卒業した頃の「勝高」繋がりといえば、同級生くらいの、せいぜい上下の先輩後輩程度でした。

まさか13年後の現在、第1期の大先輩や多くの先輩方とご一緒して時に笑い合いながらお付き合いをさせて頂くとは思いもませんでした。

きっかけもfacebookというソーシャルから、「勝高」という共通点が繋がるキーワードになって、こうして実際に生身のお付き合いをさせて頂くという貴重な経験をさせて頂きました。

本当に同じ高校を卒業したのですか?と思わず聞きたくなるくらい、多種多様な方々がいて面白くて刺激を頂いております。

これからも「勝高」をキーにして同窓生同士の繋がりが拡がりますように。



同窓会に寄せて

第35回生 バレーボール部 立原悠稀

第2回総会の開催、おめでとうございます。

2007年、廃部寸前のバレーボール部へ入部。1年生と2年生が共に県大会出場、ベスト8を目指し限られた時間の中で練習に励んだ。結果、県大会出場を果たしベスト16という成績を十数年ぶりに残す事ができた。勝高で過ごした3年間は私の基礎となり学生生活の中で大きな力となっている。

2013年、同窓会東京分校の開校パーティに出席し数多くの先輩方と交流した。この会がきっかけとなり、先輩が関わっている団体のボランティア活動、イベント運営のお手伝いをするなど貴重な体験をさせて頂き充実した日々を送っている。

勝高同窓会が益々発展しますように。



★同窓会に 参加しよう！

1) 今後企画されるイベントや事業のお誘いは、下のQRコードからメールアドレスやお名前などの登録をお願いします。



2) 役員会に参加しよう！

役員会では、事業の計画・予算の執行・委員会の設置をし、顔の見える形で運営されています。そして、この会議の後の懇親会。これが楽しい！！これのために運営されているのかと錯覚するほどです。

現在、同窓会では、若い方々のご意見を渴望しております。是非とも、お力を貸して下さい。案内は、先ほどのメール、勝田高等学校F B支部、公式ホームページで案内します。

●編集後記：先日、都内で同窓会役員会のあとに懇親会を致しました。25人+αで集まりまして、初対面も多いはずなんですが、驚くほど和気あいあい。

先輩後輩関係なく、これぞTHE無礼講！ホント楽しかったです♪これを知らないのは人生の損だなと心底思いますよ。

で、皆さん口々に云うのが、これ勝高同窓会だからだよね～、と異口同音。ホントそう思います。伝統校ではこうはいかんでしょうし・・・勝高の自由な校風は今も息づいてるんだと実感あります（さ）

勝田高等学校 同窓会

検索



校歌

田口五郎：作詞

臼井英男：作曲

筑波の峯の空青く
白雲あわく よぎるとき
ああたらさきの 学舎に
伸びゆくいのち
われら ひらかん

旭日高き 東海に
熱砂をかたく ふみしめて
おお建学の 意気高く
限りあるみの
ちから ためさん

那珂の流れに 波さわぎ
暗雲ふかく とざす日も
いざともがらよ 手をとりて
明日の郷土を
ともに になわん



茨城県立勝田高等学校同窓会
<http://katsuta-ob.org>
info@katsuta-ob.org
平成26年6月吉日発行

発行責任者 黒澤 敦（5期）

■編集／構成／デザイン
佐藤 久彰（13期）